



学校だより 3月号

令和8年2月25日



横浜市立市場小学校 TEL(581)2107 FAX(581)9387

けやき分校 TEL(580)0105 FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

みんな「がんばったね。」「ありがとう。」

校長 重田 英明

学校の梅の木には、たくさんの可愛らしい花が咲きそろいました。今年は最強・最長寒波の到来により、北陸・東北地方を中心にこれまでにない積雪を記録しましたが、2年ぶりの春一番とともに季節は確実に春に近づいているようです。皆様におかれましては、くれぐれもご自愛いただければと思います。

年度当初、初々しく学校生活をスタートした各学年の子どもたちも、大きく大きく成長しました。特に、1年生は小学校生活にもすっかり慣れ、先日おこなわれた近隣の保育園・幼稚園との交流会では園児たちを楽しませたり、りっぱにエスコートをしたりしていました。また、最高学年の6年生は、「仲間とともに」というスローガンのもと、学校全体が一つになるためにたくさんの取組をおこない、多くの成果を得ることができました。2年生から5年生までの子どもたちも同様に、体験や経験を通して多くのことを学び、りっぱに成長しました。

3月1日から数えると1年生から5年生はあと17日間で今の学年を修了し、6年生はあと14日間で卒業となります。「がんばったね。」「ありがとう。」と、1,330人の子どもたち一人ひとりを褒めたいと思います。

さて、先日閉会を迎えた「ミラノ・コルティナ 2026冬季オリンピック」は、子どもたちが“スポーツの力”を通して大切な価値に気づく絶好の機会でした。その中の一つとしてあげられることは、「オリンピックは世界中の人々が集まり、互いを認め合いながら競い合う『平和と友情の祭典』である」ことを多くの場面で見る事ができたということです。特にボード競技では、競い合っているライバルに大きな称賛を送っている選手がほとんどでした。一方で、期待通りの結果を残すことができなかつた選手たちも、「目標に向かって努力することの価値」や「困難に立ち向かう勇気」の大切さをあらためて教えてくれました。また、私が印象的だったのは、「インタビューに対する選手たちの受け応えがしっかりしているなあ」「家族やこれまでかかわってきた人々への感謝の気持ちを強くもっているんだなあ」ということです。3月6日から始まる冬季パラリンピックも楽しみにしております。



最後になりますが、保護者・地域の皆様には、一年間、子どもたちおよび市場小学校の教育活動に、いつも温かいご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝いたします。子どもたち一人ひとりの成長を大切に、次年度へつなげていきたいと思ひます。